

## 津島市民病院の病床の機能の変更について

### 1 趣旨

海部構想区域における地域医療構想の達成を推進するため、海部構想区域地域医療構想推進委員会で、関係者と協議を行っている。

### 2 経緯

- ・津島市民病院は、2024.12月提出の病床機能報告において、一般病床 352 床（高度急性期 0 急性期 304 回復期 48）と報告した。
- ・この報告において、高度急性期を 7 から 0 へ、急性期を 297 から 304 へ変更している（病床数は、352 床から変更なし。）
- ・この病床の機能の変更について、海部構想区域地域医療構想推進委員会で報告していなかった。

### 3 津島市民病院の現状について

- ・令和 7 年 5 月 20 日に、津島市民病院から、看護師の確保が困難なため、高度急性期を維持できないと報告を受けた。
- ・津島市民病院は、県市町村課を通して総務省へ経営強化プランの確認も行った。

### 4 対応について

- ・津島市民病院の病床について、一般病床 352 床（高度急性期 0 急性期 304 回復期 48）としたい。
- ・このことについて、津島市医師会奥村会長及び海部医師会羽賀会長には、事前に説明し、了承を頂いている。

### 5 今後のスケジュールについて

- ・津島市民病院には、必要に応じて資料の作成等を依頼する。